

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
戸塚	1	即時避難勧告対象区域における緊急時情報伝達システムの導入	緊急時情報伝達システムの運用方法を効果的な活用方法へ変更	総務局	—
戸塚	2	地域防災拠点におけるコンサルタントの導入	地域防災拠点コンサルタント委託	総務局	—
戸塚	3	戸塚駅勢圏における持続可能な交通ネットワークの構築	1 「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」の推進 2 時代に対応した戸塚駅周辺における交通アクセス改善事業 3 幹線バス路線の運用改善等に向けた調査設計	道路局	○
戸塚	4	戸塚駅周辺における浸水対策の推進	1 横浜市下水道事業中期経営計画2018において位置づけられた戸塚駅西口周辺地域の浸水対策の早期実現 2 水位周知下水道の整備推進等、減災に向けた自助・共助の促進支援強化	環境創造局	○
戸塚	5	踊場駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定	踊場駅周辺地区バリアフリー基本構想策定策定	道路局	○
戸塚	6	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修	福祉のまちづく条例の基準を満たした公衆トイレへ全面改修	資源循環局	—
戸塚	7	工業集積地域の土地利用転換への対策	1 立地する事業所の事業継続、立地環境向上を目的とした更なる検討 2 街づくり協議指針の運用状況の確認とそれに伴う見直し 3 土地利用誘導の仕組み強化や、土地利用転換に伴い必要となるインフラ強化に向けた官民連携の体制検討	経済局 都市整備局	○
戸塚	8	県道瀬谷柏尾の都市計画決定の推進及び横浜新道上矢部IC下り出口の整備	1 県道瀬谷柏尾の都市計画決定推進 2 県道瀬谷柏尾の追加候補路線を不動坂交差点まで延伸 3 上矢部IC下り出口の整備検討	道路局	○
戸塚	9	東戸塚駅の混雑緩和	1 安全対策や混雑緩和に向けた施策の検討・調査 2 ラッシュ時における上り列車の更なる増発に向けた要望 3 ホームドアの早期設置に向けた要望	都市整備局	—
戸塚	10	東俣野スポーツ広場のネット補修及び管理運営方法の見直し	1 当該広場の外周に設置しているネット及び支柱の恒久的な補修対応 2 覚書という形式ではなく、環境創造局が直接管理運営委員会と調整できるよう制度設計の見直し	環境創造局	○
戸塚	11	地域ケアプラザにおける事務処理ミス等の事件・事故防止	1 事務処理ミス等及び事件・事故の事例分析、対応策・再発防止策の検討 2 地域ケアプラザを対象とした研修の実施（研修テキストの作成を含む） 3 地域ケアプラザに係るコンプライアンス案件についての判断基準の平準化	健康福祉局	○
戸塚	12	土木事務所エレベータ設置	土木事務所エレベータ設置するための予算措置（設計及び施工）	市民局	—
戸塚	13	土木事務所女性専用シャワー室設置	土木事務所女性専用シャワー室設置のための予算措置	環境創造局	○
戸塚	14	戸塚駅東口デッキの階段及び手すりの清掃に係る予算措置	戸塚駅東口デッキの階段及び手すりの清掃に係る予算措置	道路局	○
戸塚	15	平戸川改修およびバスベイ設置	ボックスカルバートの設置工事	環境創造局	○

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	総務局	戸塚区		総務課	
		担当者名	本田	TEL	866-8307
		共通区	鶴見区		
		継続年数	新規	添付資料	

番号	提案種別	項目
1	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	即時避難勧告対象区域における緊急時情報伝達システムの導入
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 現在、試行運用中の緊急時情報伝達システムの運用は、登録の対象者が自治会町内会長であり、即時避難勧告対象区域の世帯には自治会町内会長を介して情報を伝達します。しかし、自治会町内会の中には30を超える世帯数が対象となっている区域もあり、現実的には各世帯へ伝達できていません。エリアメールにより、携帯電話を保有している世帯は情報を得られますが、固定電話しかない世帯は、何も情報が得られない状況です。そして、当該世帯は高齢者世帯が多く早い段階で避難行動が必要となります。しかし、現行の方法では、迅速な情報伝達ができない。さらには、情報が届かないという非常に危険な状態にあります。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 ■ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 不在で緊急時情報伝達システムの連絡を受けられないこともある。対象世帯数が多く伝達に時間がかかることや、すべての対象世帯に伝達できていない。個人に情報伝達を行って欲しい(自治会町内会長)。私の家には固定電話しかないの、電話連絡でないと情報が受けられない。なるべく早く言ってもらえると助かる(即時避難勧告対象区域の住民)。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 現行の緊急時情報伝達システムの運用により、各自治会町内会長を登録者として即時避難勧告対象世帯に対して、情報の伝達をお願いしています。また、即時避難勧告対象区域の世帯に対して啓発活動を行い、気象情報等の収集方法や避難行動の必要性を伝えていきます。なお、現行のシステム運用で登録していない自治会町内会長の枠を活用して、一部の即時避難勧告対象区域の住民に対しても登録を促し、情報発信を行っています。
		◇課題解決のための方策 即時避難勧告対象区域に住んでいる世帯に対し、緊急時情報伝達システムの登録を促します。このことにより、自助(自らの命は自らが守る)となる避難行動のスタートの情報を即時勧告避難区域の住民に直接、迅速に伝えることができます。また、現行と同じく自治会町内会長へも情報を伝達を行います。避難勧告等、避難行動が必要となっている状態を個人と地域とが共有することで、自助と共助の協力体制を構築し、風水害に対する逃げ遅れゼロの促進を図ります。
		提案内容・概算額等
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	緊急時情報伝達システム	
所管局課・担当者	総務局緊急対策課 伊藤係長	

◆局回答内容

総務局		緊急対策課	
担当者名	伊藤	TEL	671-3458

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 平成29年度から各区で運用している試行事業の結果総括を受け、令和元年度予算をベースとして各区の実情に応じて事業が継続できるよう、予算を「個性ある区づくり推進費」へ移管します。	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

戸塚区		区政推進課	
担当者名	奥住、和田	TEL	866-8326
共通区			

所管局名	道路局
------	-----

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
3	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
戸塚駅勢圏における持続可能な交通ネットワークの構築		
◇地域の課題、基礎データ等		
戸塚駅は、駅前広場のバス交通機能の逼迫や駅周辺道路の渋滞が慢性化している一方で、駅に向かうバスルートの周縁部や公共交通の空白地域では、高齢化の進行に伴い、これまで歩いていた距離や山坂の移動が困難な住民が増加しており、身近な地域内での移動・交通手段の確保が求められています。これらを踏まえ、「戸塚駅周辺の交通混雑の解消」と「日常生活圏内の交通手段の充実」の両立に向けて、『戸塚駅勢圏における持続可能な交通ネットワークの構築』として検討を進めます。		
◇地域ニーズ等の収集手段		
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()		
◇区民からの具体的な要望		
「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」策定にあたり地域住民や交通事業者、関係機関等関係者からの意見をまとめ、プラン策定に反映させました。		
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
これらの課題に対し、これまで道路局等と連携して、駅周辺のみちづくりについて取組みの方向性を位置付けた「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」を策定したほか、マンション開発等の社会環境の変化に伴う交通量の増加に対応するため、戸塚駅周辺における交通アクセスの改善について道路局と連携して検討を進めています。また、高齢化等の社会情勢の変化に対応していくため、地域の交通・移動支援に関して区局が幅広く連携する体制が準備されました。		
◇課題解決のための方策		
1 戸塚駅西口・東口周辺道路の混雑緩和に向けた取組 2 区南西部における身近な移動・交通手段の維持・充実		
提案内容・概算額等	・「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン（H31.2）」の推進：■■■■（千円） ・時代に対応した戸塚駅周辺における交通アクセス改善事業：■■■■（千円） ・幹線バス路線の運用改善等に向けた調査設計費：■■■■（千円）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	道路局企画課 石井係長、今村勝俣係長、八尾	

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	石井、今村勝俣、八尾	TEL	671-4086

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容 ①プランに位置づけた取組の推進のため既存事業において予算計上します。 ②駅周辺の交通アクセス改善のため既存事業において予算計上します。 ③持続可能な地域交通体系の構築は重要な課題であり新規事業において予算計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

戸塚区		区政推進課	
担当者名	奥住、和田	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
4	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	戸塚駅周辺における浸水対策の推進
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>戸塚駅周辺地区は、これまでに記録的な大雨による柏尾川の氾濫や下水道の溢水による浸水被害を受けてきました。これに対して、県による河川整備や市の下水道整備が進められてきていますが、近年においても平成16年の台風22号、平成26年の台風18号といった大雨により多くの浸水被害が生じ、その都度地域で大きな混乱が生じています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水範囲の解消、縮小 ・浸水被害の可能性がある場合の周知方法の強化 ・浸水被害が生じる可能性がある場合の減災に向けた取り組みの強化 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<p>浸水対策に向けた環境創造局や道路局との調整を進めてきています。</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>短期～長期の視点で効果的に下水道施設を更新、整備していく必要があるとともに、浸水する可能性がある際に事前に区民に情報を届けることができるシステムを構築することが求められています。</p>		
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市下水道事業中期経営計画2018において位置づけられた戸塚駅西口周辺地域の浸水対策の早期実現 ・水位周知下水道の整備推進等、減災に向けた自助・共助の促進支援強化 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	環境創造局下水道事業マネジメント課	

◆局回答内容

環境創造局		下水道事業マネジメント課	
担当者名	石田係長	TEL	671-2838

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>戸塚駅西口周辺地区において、抜本的な浸水対策の検討を進めるとともに、マンホール蓋の改良など、短期的な対策も合わせて実施します。また、減災に向けた自助・共助の促進の支援についても検討していきます。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課	
担当者名	奥住 鳥羽野	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
5	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	踊場駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	戸塚区では、平成30年11月に区内の鉄道駅3駅（戸塚駅、東戸塚駅、舞岡駅）周辺についてバリアフリー基本構想を策定しましたが、踊場駅については所在が泉区であるため、策定の対象外でした。しかし、踊場駅は基本構想の対象範囲(駅中心から500m程度)の大半が戸塚区に属することから、地域からもバリアフリー基本構想策定を望む声が強くなっています。	
	◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	踊場駅周辺についても早期にバリアフリー基本構想を策定してほしい。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 平成30年11月に戸塚区バリアフリー基本構想を策定しました。	
◇課題解決のための方策		
踊場駅は戸塚区及び泉区の区境に位置しますが、対象範囲(駅中心から500m程度)の大半が戸塚区に属することから、戸塚区を中心に、泉区及び道路局と連携しつつ、バリアフリー基本構想策定手続きを進める必要があります。		
提案内容 概算額等	踊場駅周辺地区バリアフリー基本構想策定に関わる費用 ■■■■■千円（2か年分） （1年目：■■■■千円、2年目：■■■■千円）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	まちのバリアフリー化推進調査費	
所管局課・担当者	道路局企画課 石井係長、今村	

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	石井、今村	TEL	671-4086

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	踊場駅周辺地区バリアフリー基本構想策定に関わる費用を予算計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	資源循環局	戸塚区		区政推進課	
		担当者名	奥住、鳥羽野	TEL	866-8326
		共通区			
		継続年数	2年	添付資料	

番号	提案種別	項目
6	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	戸塚区内には、戸塚駅に2カ所、東戸塚駅に2カ所公衆トイレがあります。戸塚駅西口の公衆トイレについては、西口再開発に合わせて整備されているためバリアフリー対応になっていますが、それ以外の公衆トイレについては、和式トイレがあったり、個室に段差があります。また、標識の整備も不足しており、視覚障害者用誘導ブロックの敷設、ベビーベッド等も設置されていないところもあります。 戸塚駅の1日の平均乗降客数は、JR線223,450人、市営地下鉄90,133人と市内では横浜駅に次いで多く、また、東戸塚駅も116,800人と多くの人が利用しており、高齢者、障害者だけでなく、多様な利用者のニーズに対応した整備が求められています。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検）	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・個室トイレが和式のみで使いづらい。（戸塚駅東口） ・トイレ内に段差がある。 ・ベビーベッドがない。 ・視覚障害者用誘導ブロックがない。（東戸塚駅東口） 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けた横浜市バリアフリー戸塚区部会の開催 		
◇課題解決のための方策		
<ul style="list-style-type: none"> ・和式トイレの洋式化（戸塚駅東口） ・ベビーベッド、ベビーチェアの設置 ・トイレ内の段差解消 ・洗面所への手すり設置 ・バリアフリー対応整備がある旨の表示 ・公衆トイレの案内及び障害者用誘導ブロックの敷設 		
提案内容・概算額等	福祉のまちづく条例の基準を満たした公衆トイレへ全面改修 利用客が最も多い戸塚駅東口公衆トイレの改修に向けた設計及び工事 約35,000千円 ※なお、東戸塚駅東口・西口についても、R3年度以降、順次改修に向けた設計及び工事	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	公衆トイレ整備事業	
所管局課・担当者	資源循環局 街の美化推進課	

◆局回答内容

資源循環局		街の美化推進課	
担当者名	畑・峯尾	TEL	671-2555

対応の有無	対応しない <input type="checkbox"/>	予算化見送り <input type="checkbox"/>
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	誰もが使いやすい公衆トイレとしていくには、施設の改修が必要と考えております。現在、公衆トイレの改修については、限りある財源を東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた競技会場・観光地周辺の改修に充てている状況であり、今後の改修については、優先順位を定め、整備対象を検討します。	
	◇対応する場合の課題	
	公衆トイレ整備については優先順位を定め、整備か所を決めております。現時点では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺の整備の優先順位が最も高いと考えており、限られた財源の中での事業化は困難です。	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	経済局、都市整備局	戸塚区		区政推進課	
		担当者名	奥住、和田	TEL	866-8326
		共通区			
		継続年数	4年	添付資料	

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	工業集積地域の土地利用転換への対策
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>柏尾川などの河川沿いは、都市機能と調和を図りつつ工業の集積を重点的に推進・保全する工業集積地域として位置付けられています。しかし、近年、工場等の移転などにより住宅系の土地利用への転換が進んでおり、工業集積の維持や周辺環境との調和などが課題となっています。また、住宅への転換や集中による小学校教室や保育園数の不足や、駅周辺道路の混雑が喫緊の課題となっています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<p>住宅系の土地利用への転換に伴う児童数の増加による既存の小学校の学区変更の提案に対して、地域からの反対意見が寄せられました。また、戸塚駅周辺では、大規模な土地利用転換に伴い建設されたマンションの送迎バスが集中することにより、交通渋滞が発生し、苦情が発生しています。</p>	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取引前協議部会や土地利用総合調整会議などの機会を捉えて区の意見を伝えていきます。 ・平成27年度には「秋葉・柏尾周辺地区街づくり協議指針」の策定に向けた支援を行いました。(平成28年4月制定) 	
	◇課題解決のための方策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉町・柏尾町周辺地区においては、街づくり協議指針に基づき協力要請を確実に実行していく必要があります。 ・土地取引の動きを早期に捉え関係局で連携して土地利用調整を行うとともに、周辺道路等インフラ強化を企業等と協議し、官民連携して実施していく必要があります。 ・平成27年度以降取組んできた検討結果等も踏まえて、引き続き工業系土地利用の継続に有効的な誘導手法を検討していく必要があります。 	
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> ・立地する事業所の事業継続、立地環境向上を目的とした更なる検討 ・街づくり協議指針の運用状況の確認とそれに伴う見直し ・土地利用誘導の仕組み強化や、土地利用転換に伴い必要となるインフラ強化に向けた官民連携の体制検討 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	経済局：企業誘致・立地促進事業、都市整備局：まちづくり誘導調整事業	
所管局課・担当者	経済局企業誘致・立地課、都市整備局地域まちづくり課	

◆局回答内容

経済局		企業誘致・立地課	
担当者名	大場 中村	TEL	671-2590

対応の有無	対応する	既存の制度で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	立地事業所との意見交換等を通じて、状況や意向を把握するとともに、産業の立地等について分析を行うことなどにより、工業集積の維持に向けた検討を行います。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

都市整備局		地域まちづくり課	
担当者名	市川、杉本	TEL	671-2667

対応の有無	対応する	既存の制度で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	本年度も引き続き秋葉・柏尾周辺地区街づくり協議指針に基づき、事業者と協議を行います。また、経済局等と連携し、適切な土地利用誘導について検討します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課	
担当者名	奥住、和田	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
8	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	県道瀬谷柏尾の都市計画決定の推進及び横浜新道上矢部IC下り出口の整備
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>県道瀬谷柏尾は、(仮称)上矢部岡津線として、都市計画道路の追加候補路線になっているものの、都市計画決定の見通しが立っておらず、交通量の増加による渋滞が慢性化していることに加え大型車両の通過が多く、また、十分な歩行者空間が確保されていない状況にあります。大型車両の通過が多く、渋滞が慢性化している状況は、不動坂交差点まで続いています。また、横浜新道の上下部ICには下り出口がなく、直近の川上ICで降りた車両による住宅地内の通過等、周辺地域には様々な問題が生じています。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> かねてから地区懇談会等の機会において渋滞の解消や安全対策が求められています。 平成25年3月に小学生が巻き込まれた死亡事故発生の経緯があり、早急な安全対策が求められています。 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<p>県道瀬谷柏尾については区画線の補修や減速表示などの安全対策を実施しています。上矢部IC下り出口については、地区懇談会において地域の意見を聞き、回答について調整を行いました。また、24年度に区内の中小企業訪問を実施した際、上矢部町周辺の事業所から上矢部ICについての意見を聴取しました。</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>県道瀬谷柏尾の都市計画決定の推進、都市計画道路の追加候補路線を不動坂交差点まで延伸、及び上矢部ICの整備が必要です。</p>		
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> 県道瀬谷柏尾の都市計画決定推進 県道瀬谷柏尾の追加候補路線を不動坂交差点まで延伸 上矢部IC下り出口の整備検討 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	道路局企画課 周治係長、原 横浜環状道路調整課 関野係長、青木	

◆局回答内容

道路局		企画課 横浜環状道路調整課	
担当者名	周治、原(企画課) 関野、青木(横浜調整課)	TEL	671-2777(企) 671-2735(横浜調整)

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>上矢部IC下り出口の整備については調査・設計費等を予算計上しました。(横浜環状道路調整課)</p> <p>【課題】 瀬谷柏尾線の横浜新道から区境までの区間は、平成20年5月に公表した「都市計画道路網の見直し」において追加候補路線としています。引き続き都市計画の方向性が整理できた段階で検討や調整を進めていきます。(企画課)</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局	戸塚区		区政推進課	
		担当者名	奥住、和田	TEL	866-8326
		共通区			
		継続年数	7年以上	添付資料	

番号	提案種別	項目
9	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	東戸塚駅の混雑緩和
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・区民から東戸塚駅の通勤ラッシュ時の線路転落・転倒危険性について指摘されており、周辺の地区懇談会では、毎年議題となっています。 ・東戸塚駅の周辺は、宅地開発や大規模マンションの建設などのまちづくりが進んでいます。また、バス便により近隣区の住民も東戸塚駅を利用している状況であり、昭和55年に開業して以来、乗車人員が約7.7倍にまで増加しています ・地元の町内会長等が呼びかけ人となり、東戸塚駅の改善を求める署名活動を行いました。(H21) ・JR東日本は、概ね15年程度(2032年度末頃まで)で、乗降10万人以上(乗車5万人以上)の駅等を中心に東京圏在来線の主要路線全駅にホームドアを整備することとしています。しかしながら、東戸塚駅は2025年度以降、2032年度頃までの整備とされており、優先順位が低くなっています。 	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・東戸塚駅利用者が年々急増を続け、特に平日朝および夕方の通勤ラッシュ時には改札口周辺・プラットホームはもとよりエスカレーター・階段に人が溢れ、線路への転落・転倒などの人身事故がいつ起きるか分からない危険性があります。関係者と協議の上、いつとも早く解消策を実行して欲しいとの要望があります。 	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県鉄道輸送力増強促進会議で要望を伝えました (H18～) ・東戸塚駅長に要望を伝えました (H24.6) ・都市整備局に要望を伝えました (H24.8 地域ニーズ三副市長説明) ・東日本旅客鉄道株式会社横浜支社長に要望を伝えました (H26.3、H26.7) 	
	◇課題解決のための方策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅改札口の増設等の混雑緩和に向けた駅舎改良の検討 ・ラッシュ時における上り列車の更なる増発 ・ホームドアについては、公表済みの整備時期の前倒し 	
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策や混雑緩和に向けた施策の検討・調査 ・ラッシュ時における上り列車の更なる増発に向けた要望 ・ホームドアの早期設置に向けた要望 	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	鉄道計画検討調査費	
所管局課・担当者	都市整備局 都市交通課	

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課	
担当者名	山岡	TEL	671-3541

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	<p>JR東日本は、これまでに混雑対策としてホームにあるベンチの撤去、エスカレータの高速運転、ダイヤ改正など対応可能なことから順次改善を行っていることから、混雑状況を見ながら今後の対応を検討する意向を示しています。提案いただいた方策については、引き続き、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議など、あらゆる機会をとらえてJR東日本に対し働きかけていきます。</p>	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	健康福祉局
------	-------

戸塚区		福祉保健課	
担当者名	上田	TEL	866-8424
共通区	西区、中区、南区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、青葉区、都筑区、栄区、瀬谷区		

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目
11	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
		地域ケアプラザにおける事務処理ミス等の事件・事故防止
		◇地域の課題、基礎データ等
地域のニーズと解決策		<p>地域ケアプラザにおいて事務処理ミス等の事件・事故が発生した場合、その都度当該地域ケアプラザに対して、再発防止に向けた施設内での情報共有と対応策の検討を求めています。区においても各地域ケアプラザへの指導や研修等の取組を実施していますが、発生件数の減少にはつながっていません。</p>
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（地域ケアプラザ業務対応等）
		◇区民からの具体的な要望
		<p>事故後の利用者への謝罪・説明のなかで大きな苦情にまで発展したケースは報告されてはいますが、利用者としては当然再発防止を望んでいるものと考えます。</p>
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		<p>地域ケアプラザ所長会において、地域ケアプラザで発生した事故等の情報共有・注意喚起を行うとともに、平成31年度はすべての地域ケアプラザに出向き、個人情報の取扱い研修を実施しています。また、事務処理ミス等及び事件・事故発生時には、総務局コンプライアンス推進課が定める事務の流れに沿って適切な対応を行っています。</p>
		◇課題解決のための方策
		<p>同様の事件・事故事例は他区でも多く見受けられることから、18区共通の取組とすることが有効と考え、次の方策を提案します。実施内容については区局のプロジェクトで検討し、事務局は所管局が担当することとします。</p> <p>1 事務処理ミス等及び事件・事故の事例分析、対応策・再発防止策の検討 2 地域ケアプラザを対象とした研修の実施（研修テキストの作成を含む） 3 地域ケアプラザに係るコンプライアンス案件についての判断基準の平準化</p>
提案内容・概算額等		<ul style="list-style-type: none"> 原因分析・再発防止策検討（コンサルタント委託料） 2,000千円 研修テキスト作成 500千円
参考：区執行体制上の課題		現行の体制で対応
局事業名		
所管局課・担当者		健康福祉局地域支援課 阪柳

局回答内容

健康福祉局		地域支援課	
担当者名	阪柳	TEL	671-3613

対応の有無	対応する	既存の制度で対応する
対応する場合	◇対応の内容 従来から各区、各ケアプラザへ通知している事故等の概要及び再発防止策等の共有を継続するとともに、区係長級及びケアプラザの所長などを入れた庁内プロジェクトを実施して、事件・事故発生の実態や課題を踏まえたうえで、その対応策について検討を行います。また、対応策の趣旨が職員一人一人に伝わるよう、より効果的な研修事例の情報提供を行う等の取組も進めていきます。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	市民局
------	-----

戸塚区		土木事務所	
担当者名	塩田	TEL	881-1621
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
12	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	土木事務所エレベータ設置
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	戸塚土木事務所は、窓口が2階にあります。階段を上り下りする必要がある、車いす等による来所が困難な状況です。また、別棟についても選挙の投票所等として使っていますが、段差があり、必要な都度、仮スロープを設置している状況です。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者や高齢者などが来庁した場合、階段の上り下りの補助が必要となるなど時間を要しているだけでなく、転倒、転落等の危険がある状態です。 ・ 市の福祉のまちづくり条例の趣旨にのっとり、障害者や高齢者を含め来庁されるすべての区民に不便なく行政サービスを受けられるよう、土木事務所のバリアフリー対策を進めていくことが必要です。 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
◇課題解決のための方策		
「土木事務所のバリアフリー化」 1 土木事務所にエレベータ等を設置し、誰もが不自由なく窓口サービスを受けられる環境を整備します。 2 整備に当たっては区と局が連携することにより円滑な事業進捗を目指します。本件については、市民局が設計・施工費を負担し、戸塚区では必要な事務手続きを行う方向で調整します。		
提案内容 概算額等	実施するための予算措置（調査委託） 概算額： ■■■ 千円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	市民局 地域施設課	

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	加藤、屋富祖	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない	その他
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	バリアフリー化についての必要性は理解できますが、厳しい財政状況の中、対応は困難です。	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	
	予算の確保が課題です。	

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

戸塚区		土木事務所	
担当者名	塩田	TEL	881-1621
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
13	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	土木事務所女性専用シャワー室設置
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>ここ数年、土木事務所においても女性の技術職員が増えております。突発的な事故対応や災害待機等において通常時間以外での対応する状況や、下水道管まよの点検において汚水等の飛散により作業服がひどく汚損する場合も想定されますが、女性専用のシャワー室などが無いため、女性職員から夏場や連絡員当番の際に女子休憩室内にシャワー室、鍵のかかる脱衣所の要望がありました。</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（職員提案）	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の改善による職員のモチベーションアップが期待できます。 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
◇課題解決のための方策		
<ul style="list-style-type: none"> ・土木事務所に女性専用シャワー室を設置する。 		
提案内容・概算額等	実施するための予算措置（委託費）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	環境創造局 管路保全課	

◆局回答内容

環境創造局		管路保全課	
担当者名	米多 満芳	TEL	671-2832

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	設置スペース確保の状況により対応します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

